

山行報告書

作成日 2015 年 2 月 28 日

- ・ 山域：西上州
- ・ 山名：荒船山
- ・ 山行形態：アイスクライミング
- ・ ルート名：エイプリルフル
- ・ 期間：2015 年 2 月 22 日（日）日帰り
- ・ メンバー：細野 勅使河原
- ・ 報告書作成者：細野範昭

2015 年 2 月 22 日（日）

春の足音が聞こえてくる今日この頃、最近流行りの西上州にアイスクライミングに行ってきました。

○4：00 ミニストップ下古山店集合で勅使河原さんのシビックに乗り込み出発。
時速 130 キロオーバーのハイペースで走り、約 2H で荒船山登山口に到着。
準備をして 6：15 頃出発。

アプローチは途中まで荒船山への登山道を辿り、「登山口 30 分、荒船山 2 時間」と書かれた看板を滝が見える方へ。

誰かが目印にアイゼン（恐らくグリベルのランボー1 か 2）を木にぶら下げてくれているのでわかりやすい。この時期は入っている人も多いのか、トレースも明瞭で迷いにくい。

約 1 H 半で相沢氷瀑に到着。

あまりの立派さに挑戦したくなってしまうが、今回の目的はエイプリルフル。
更に少し奥へ進む。

その奥には登れそうな滝が 2 本あり、滝に向かって右側がエイプリルフル。
左側の方が立派で、他のネット等の報告書等でもよく間違えられているようだ。

ちなみに私たちも勘違いし、最初左側に取り付こうとして、たまたま居合わせたミソジの方に教えていただいたので、無事エイプリルフルに取り付くことができた。



図1. 相沢の氷瀑



図2. エイプリルフール1ピッチ目核心を登る勅使河原さん

○1ピッチ目→約35m

核心は上部4m程の垂壁(図2)。ハングしており角度は 95° ~ 100° ほど。氷は柔らかめだが登りにくく、さすがの勅使河原さんもアックステンションをかけながらの厳しめな登攀となった。フォロー細野はノーテンで抜けるも、核心部ではパンプ寸前の腕に喝を入れながらの登攀となった。

○2ピッチ目→約25m

パンプ寸前だったが、ここに来てオールフォローというのも男が廃ると思い、細野リード。出だしから垂直 90° 。フェース部分のみで行こうと思ったが、凹角部分を使って登る。ただし凹角の右部分はツララ状態で足が決まりにくい(図3参照)。



図3.2ピッチ目
(写真は帰りに懸垂しながら撮ったもの)



図 4.2 ピッチ目終了点

残置や立木は見当たらなかったためスクリューで構築

○3 ピッチ目→約 50m

勅使河原さんリード



図 5.3 ピッチ目

図 5 のように、しっかりした滝の前にツララ状の滝が架かってしまい、厳しめの登攀になった。どのくらい厳しかったかは、あの冷静な勅使河原さんが上部を抜ける際、奇声を発しながら両足ブラブラで抜けていたことから分かる。ここを抜ければ後はラッセルしながら緩めの雪稜を登ると立派な立木があるので終了点とする。

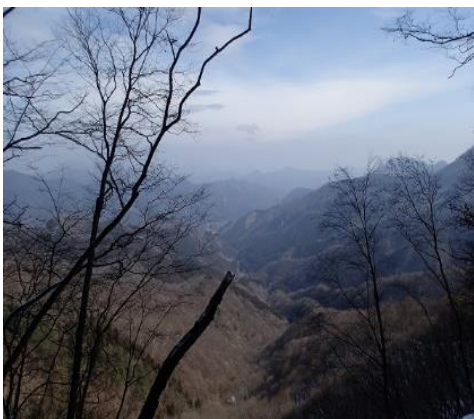


図 6.2 ピッチ終了点からの眺め

雨の予報だったが、良く晴れて最高のアイス日和となった。

○帰りは後続パーティーが登ってきていたので、妨げないように注意しながら空中懸垂を交えて3ピッチで取り付きに戻った。

下山後、荒船の湯にゆっくり浸かって細野が時速130キロオーバーでシビックを駆り帰宅。

細野は初めての西上州だったが、今回の滝はアプローチもウメコバに比べれば近いし、むしろアップにちょうどいいと感じた。

氷の質は、現地でお会いした童人トマの風の方々も仰っていたが、硬い感じではなく粘りがあるように感じた。

近くにはまだまだ楽しそうな滝もたくさんあり、来年は泊まりも含め、もっと訪れたいエリアだ。